

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 180-8580
 住 所 東京都武蔵野市西久保一丁目25番8号
 氏 名 株式会社 すかいらーくホールディングス
 代表取締役 谷 真 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社すかいらーくホールディングス		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市宮前区菅生5丁目2番18号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	M	宿泊業, 飲食サービス業
	中分類	76	飲食業
主たる事業 の内容	レストランチェーンの運営		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	3,193	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
		電話番号	
		FAX番号	
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2019 年度 ~ 2021 年度 (報告年度 2021 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度 (2018 年度)	第1年度 (2019 年度)	第2年度 (2020 年度)	第3年度 (2021 年度)	目標排出量
排出量 (t-CO2)	(実) 8,124 (調) 8,075	(実) 8,062 (調) 7,998	(実) 6,153 (調) 5,706	(実) 5,504 (調) 5,042	(実) 7,880 (調) 7,833
削減率		(実) 0.8 % (調) 1.0 %	(実) 24.3 % (調) 29.3 %	(実) 32.3 % (調) 37.6 %	(実) 3.0 % (調) 3.0 %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

原単位等の活動量	原単位等の単位				目標とした値
	基準年度 (2018 年度)	第1年度 (2019 年度)	第2年度 (2020 年度)	第3年度 (2021 年度)	
排出量原単位等の値					
活動量の値					-
排出量原単位等の削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	エネルギーの使用量は店舗が1店増加しており、若干電力量が増えているが、電力会社の排出係数が下がったため、温室効果ガスの排出量は0.8%の削減となった。
第2年度	コロナ禍による、売上減、営業時間短縮により、エネルギー使用量が減少。温室効果ガスの排出量は24.3%の削減となった。
第3年度	前年度に引き続きコロナ禍により、エネルギー使用量が減少。また各店舗で高効率機器の入替等を行った結果、温室効果ガスの排出量は32.3%の削減となった。
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)	コロナ禍による売上・客数減、営業時間短縮により、温室効果ガスは基準年と比較して約3割減となった。
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	コロナが収束した場合は2019年排出量を目標とし、店舗の省エネ行動を推進する。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>1. 予防メンテナンスの実施 空調機、冷蔵・冷凍庫、調理機器等の点検清掃を毎月項目を決め実施する。 2. エアコンの計画的入れ替え 経年数の長いものから、高効率の機器に入れ替えを行う。 3. エネルギー使用の把握 市内店舗は基本的に毎日エネルギー計測を行い、使用量を把握する。</p>
<p>第1年度</p>	<p>1 予防メンテナンスの実施について 2か月に1度点検清掃項目を決め実施した。 2 機器の入れ替え 冷蔵庫29台、空調機10台、製氷機3台を入れ替えを行った。 3 エネルギー使用の把握 市内店舗は毎日計測を行い、マネジャーを中心にムダなエネルギーを使用しないよう行動した。</p>
<p>第2年度</p>	<p>1 予防メンテナンスの実施について 2か月に1度点検清掃項目を決め実施した。 2 機器の入れ替え 冷蔵庫20台、空調機8台の入れ替えを行った。 3 エネルギー使用の把握 市内店舗は毎日計測を行い、営業部長・マネジャーを中心にムダなエネルギーを使用しないようチェックリストを用い確認。改善行動をおこなった。</p>
<p>第3年度</p>	<p>1 予防メンテナンスの実施について 2か月に1度点検清掃項目を決め実施した。 2 機器の入れ替え 冷蔵庫16台、空調機9台の入れ替えを行った。 3 エネルギー使用の把握 市内店舗は毎日計測を行い、営業部長・マネジャーを中心にムダなエネルギーを使用しないようチェックリストを用い従業員の意識付けを徹底し 改善行動を行った。</p>
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	<p>エネルギー使用量の把握により、従業員の省エネ意識を高め、予防メンテナンス実行、ムダなエネルギー削除に繋がった。また、計画的にエアコン・冷蔵庫などの入替を行った。</p>

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	特になし
第1年度	特になし
第2年度	特になし
第3年度	特になし

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	2018年12月ガスト全店でプラスチックストロー廃止。今後すかいらーく全店で廃止予定。
第1年度	2018年12月～ ガスト全店でプラスチックストロー廃止。 2019年 6月～ すかいらーくレストランズ全店でプラスチックストロー廃止。 (追加実施) 2019年12月～ すかいらーくレストランズ全店でテイクアウトレジ袋を バイオマスプラスチック製に変更(追加実施)
第2年度	特になし
第3年度	特になし

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源CO ₂ 排出量	8,124 t-CO ₂	8,062 t-CO ₂	6,153 t-CO ₂	5,504 t-CO ₂
原油換算エネルギー使用量	4,260 KL	4,358 KL	3,199 KL	3,193 KL
事業所の数	66	67	69	60

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度